

南足柄市社会福祉協議会では、令和3年度から7年度までの第5次地域福祉活動計画の実施状況を第3者委員会である推進評価委員会を設け毎年度、評価をしていただいております。ここに、令和6年度の評価結果を報告します。

1 基本目標1

人づくり

施策(1)	施策(2)	施策(3)
地域活動に参画する担い手の養成	NPO・ボランティア活動等の推進	地域におけるネットワークの強化
A	A	A

評価基準は、次の4段階

「A」 計画通り実施した(80%以上の達成)

「B」 概ね計画通り実施した(60%以上)

「C」 計画通り実施できていない(40%以上)

「D」 未実施、実施できなかった(40%以下)

2 基本目標2

地域づくり

施策(1)	施策(2)	施策(3)	施策(4)	施策(5)
人と人の結びつきの推進	地域におけるセーフティネットの構築	人権の尊重と権利擁護の充実	地域共生の社会づくり	自助、互助、共助による防災体制の構築
A	A	A	B	B

3 基本目標3

体制づくり

施策(1)	施策(2)	施策(3)	施策(4)
相談体制の充実	福祉サービスの充実	障害者の自立支援	生活困窮者の自立支援
B	B	B	B

4 委員会からの要望

少子高齢化や人口減少、さらに地域のつながりの希薄化が進み、地域福祉を支える担い手が減少し、地域の支え合い機能の低下が懸念されています。一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていける地域共生社会の構築が、より一層求められています。こうした中で小中学生への福祉教育、地域の社会福祉法人との連携、ICTを活用した防災訓練、高齢者や障害者を対象にした移送サービスなど、各種事業を工夫して実施し、成果を収めていることを評価します。

なお、令和8年度は現行の第5次地域福祉活動計画の最終年度になります。現行計画の検証は、新計画策定に当たって大きなポイントとなります。引き続き検証を実施しながら、課題を的確に把握し、地域住民の意見を反映した新計画となるよう期待します。

本委員会の評価を踏まえ、高齢者をはじめ地域の方々が、いつまでも元気で暮らせるよう、地域共生のまちづくりを目指して事業を推進し、社会福祉協議会の活動がさらに充実されることを期待します。

第5次地域福祉活動計画 基本理念 「いつまでも健康で 人がつながり支えあうまち 南足柄」

● 社会福祉協議会に対し、ご意見ご要望がありましたら、ぜひお寄せください。

● 社会福祉協議会の活動にご理解いただき、ぜひ活動にご参加ください。

令和7年度 第5次地域福祉活動計画 実施状況の推進評価委員会評価

評価基準は、次の4段階

「A」 計画通り実施した(80%以上の達成)

「B」 概ね計画通り実施した(60%以上)

「C」 計画通り実施できていない(40%以上)

基本目標1 人づくり

施策	施策内容	委員会評価	
施策(1)	地域活動に参画する担い手の養成	A	・福祉教育はアンケートを実施するなど工夫がみられ評価する。今後も学校と連携を取って事業を推進して欲しい。
施策(2)	NPO・ボランティア活動等の推進	A	・ボランティア活動を活性化するには、ボランティアポイントを付与することも一つの方法だと考える。ぜひ導入を検討して欲しい。第6次の新地域福祉活動計画には組み入れて欲しい。
施策(3)	地域におけるネットワークの強化	A	・地域の社会福祉法人との連携やテーマを決めての社会福祉大会の開催など工夫して事業を実施していることを評価する。今後も目標達成に向かって事業を推進して欲しい。

総合評価

- ・事業実施には目標値は重要である。常に目標値が適切であるか評価しながら事業を進めていただきたい。
- ・ボランティアポイント制度の導入を検討していただきたい。ポイント制度導入にあたっては、研修教育の充実が重要となる。研修を進め、現場で有用な活動となるようにしていただくとともに、ボランティア活動の裾野を広げるように事業を推進していただきたい。

基本目標2 地域づくり

施策	施策内容	委員会評価	
施策(1)	人と人の結びつきの推進	A	地域福祉会に限らず、会員の高齢化は課題である。会の事務処理をサポートしていく仕組みを検討して欲しい。若い人の加入やデジタル技術の導入も検討して欲しい。
施策(2)	地域におけるセーフティネットの構築	A	引き続き、計画に沿って事業を推進して欲しい。
施策(3)	人権の尊重と権利擁護の充実	A	引き続き、計画に沿って事業を推進して欲しい。
施策(4)	地域共生の社会づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の移動支援は課題である中、おたがいさまネットの移動支援事業は課題解決に向けた有効な事業である。今後も引き続き活動を支援して欲しい。 ・おたがいさまネットの活動が未実施の矢倉沢自治会でも導入の動きがある。その時は支援をお願いしたい。
施策(5)	自助、互助、共助による防災体制の構築	B	<ul style="list-style-type: none"> ・広域での防災訓練は大切であり、実施していることを評価する。ICT(キントーン)を広域でかつ効率的に活用することが重要になるので、今後も進めて欲しい。

総合評価

・高齢者や障害者に対するハンディキャブ事業やおたがいさまネットの移動支援の仕組みなど新しい交通システムを作ることは重要である。今後は住民に対し活動の見える化を更に進め、住民が自分に合った交通システムを選択できるようにしていただきたい。
 ・地域福祉会をはじめ団体の高齢化は課題である。団体の活動をサポートしていく仕組みを検討していただきたい。
 ・災害が、いつ起こるかかわからない中、各自治体が共通したICT(キントーン)を活用して防災対策に取り組むことは必要であり重要である。今後も県社協と連携し、広域で防災対策を進めていただきたい。

基本目標3 体制づくり

施策	施策内容	委員会評価	
施策(1)	相談体制の充実	B	・居宅介護支援事業、訪問介護事業は、頑張って事業を推進しているので、それぞれ自己評価より評価を上げてB評価、A評価が適当だと思われる。
施策(2)	福祉サービスの充実	B	・ハンディキャブ事業においては、新たな職員の採用、ふるさと振興券の活用など事業を円滑に推進しており評価する。今年10月の経営の安定化に向けた料金改定は、利用者の理解を得ながら進めて欲しい。
施策(3)	障害者の自立支援	B	・さつき会の運営については、家族会から引継ぎ、社協で運営していることに感謝する。さつき会の活動など障害者に対する支援活動の普及啓発をして欲しい。
施策(4)	生活困窮者の自立支援	B	・食料支援プロジェクトについては、必要な人に食料が渡るよう、高齢者の通いの場や子ども食堂など、食料を必要とする場での活用も含め検討して欲しい。

総合評価

- ・ハンディキャブ事業については、安定した経営を目指し、工夫しながら円滑に事業を推進していることを評価する。
- ・さつき会の活動など、障害者に対する支援活動の普及啓発を推進していただきたい。
- ・食料支援プロジェクトについては、今後も必要な事業である。必要な人に食料が適切に渡るよう配布方法等検討していただきたい。